



安心して運転できる車に

車検前の大型トラックが、高圧の蒸気でいきおいよく洗われて、分解、整備へと手際よく仕事が進められていく。

高度な技術と経験によって、安心して運転できる車に整備することが彼らの責任であり、生きがいである。欠陥場所は一か所でも見のかすことは許されない。

市内には、自動車整備の事業所が19、ここで働く従業員は140名です。

メカニズムの複雑化が進むにつれて、さらに高度な技術を要求される整備工の世界で活躍する、この若い力と情熱は、発展する登別をささえる大きな力となるでしょう。

若
群
像

補正予算などを可決

第3回定例市議会



九月二十六日招集された第三回登別市議会定例会は、三十日までの五日間ひらかれ、報告、一般質問が行なわれ補正予算案、条例の設定などあわせて二十三案件を慎重に審議し、それぞれ原案通り可決されました。

なお、昭和四十六年度水道事業会計決算の認定、ならびに登別市総合基本構想については、それぞれ特別委員会を設置し、既審議されることになりました。

また、協議案の火葬場の位置について、老人憩いの家建設について、登別郵便局庁舎及び敷地の買収についての三件は提案通り了承されました。主な内容は次のとおりです。

特別委員会と 行政の報告

本議会における報告は、幹線道路建設、北海道新幹線鉄道誘致の各特別委員の中間報告と、行政報告六件等がおこなわれました。

●幹線道路建設特別委員会の中間報告は、六月二十日、国土開発幹線自動車道審議会で、苫小牧西インターチェンジから室蘭東インターチェンジ(富岸)間、四十九キロの整備計画と室蘭西インターチェンジから函館間、一六六キロの基本計画が決定してからは、強力に建設促進のための運動を進めているとの報告がおこなわれた。

●北海道新幹線鉄道誘致特別委員会は、七月三日に路線を定める基本計画が決定され、運輸大臣から国鉄、鉄道建設公団に対し、調査命令が出されたことから、道陳情、中央陳情、さらに東京決起大会などの運動が重ねられ、強力に展開されている。

●なお、路線の決定は、四十八年六月頃と推測されています。

●行政報告のうち、西胆振広域市町村圏振興計画策定報告の内容は、昭和五十五年を目標年次とする

する圏内(登別市、室蘭市、伊達市、壮瞥町、釧田町、豊浦町、洞爺村、大滝村)八市町村の計画的な、社会基盤整備と住民の福祉向上をはかるために、広域的、総合的計画を策定したものです。

●開拓農協と肉牛飼育組合との関係は、有限会社登別プロイラーが八月二十九日に、二千万円、九月二十日に、一億円を開拓農協に支払い、受領されたので、両者間には一切の債権、債務が存しないこととなり、市の貸付牛、債務補償の問題も早期に解決するという報告。

条例の改正

●特別職の職員の給与に関する条例の改正で、議員報酬が、十月一日より次のように改められました。

議長(月額報酬)六万円
副議長() 五万五千円
議員() 五万円

議長() 八万円
副議長() 七万円
議員() 六万円

●カルルス温泉スキー場スキーリフト使用条例の改正は、

大人
普通料金一回につき、六十円を八十円に、回数料金十一回分六百円を八百円に、
小人(中学生まで)

普通料金一回につき、三十円を四十円に、回数料金十一回分三百円を四百円にするという内容です。

●火災予防条例の改正は、「液体燃料を使用するストーブ、又は風呂がまの、分解掃除および整備は業者あるいは、熟練者におこなわせるように、努めなければならない」という条項を設定する。

各会計の補正予算

●一般会計予算は、歳入歳出それぞれ九千三百二十万一千円を追加し、予算総額を、歳入歳出それぞれ、二十四億五千八百二十五万四千円としました。

歳出予算の追加で主なものは、議員報酬、議員旅費など議会の運営に必要な経費として、

四百十五万円
老人医療費に 一千二百万円
火葬場新設に 一百二十万三千円
商工会議所への助成金として 一百万円

車庫増築などと市有財産の管理に必要な経費に 二百四十八万円
市道の補修に 二百三十万円
カルルス道路改良に 二百三十四万円

上野別東部地区土地区画整理事業測量費 二百四十万円
市街地排水路の新設と整備に 一千二百七十万円

公営住宅の維持管理 一百六十万円
教育の指導、研究奨励などに

二百六十二万二千元
小中学校の維持管理に

三百三十三万八千元
市立図書館の運営管理等の社会教育費に

二百五十九万二千元
陸上競技場整備、カールススキー場メンテナンス補修に

富岸、川上地区の農業用施設災害復旧事業費として、二百二十万円の追加がありました。

●観光事業特別会計の補正予算は、国民宿舎オロフレ荘の運営管理に必要な経費として、歳入歳出それぞれ四十七万三千円を追加し予算総額を五千九百六十八万八千円としました。

●水道事業会計補正予算は、雑用水事業の受託工事に、収益、費用それぞれ四百七十二万五千円を、追加補正しました。

老人憩の家二ヶ所 新設などを了承

●協議案の老人憩の家の建設は、あらたに米馬町六十七の米馬集会所の隣りと、富浦生活館の隣りにそれぞれ新設されることを議会の了承を得ました。

●登別郵便局庁舎と敷地の買収については、新築移転後に無集配郵便局と児童館を、設置することになりました。

(3) ●火葬場の位置は、富浦霊苑の隣地（登別町一三三）に近代的な設備を備えた火葬場と管理人のための住宅を建設する。

九月二十七日、二十八日の二日間、市政につ

いて九名の一般質問がありました。

おもな内容はつぎのとおりです。

乳幼児医療の無料化を

問 最近の乳幼児の病気になる死亡率の上昇、また、重度身障児

童、小児ガン、未熟児などによる慢性病の増加により、乳幼児の将来はまことに不安定です。育児ノイローゼの母、家計にしのめる医療費の負担増大などの問題に対処して、ぜひゼロ歳から三歳までの医療費無料化をすすめていただきたい。

答 乳幼児医療費無料化は、母子の健康の最大の眼点と考えている。全体の財政計画の中から、四十八年度より実現できるような最善の努力を行なっていく。

老人福祉対策と施設を

問 高齢化が急激に進んでおり、今後とも老人に対する施策は、ますます重要度を増す傾向にあるが、高齢年金の増額と実施年齢を六十五歳まで引下げる考えはないか。一人暮らしや寝たきり老人の家庭奉仕員の増員、また単身又は病弱老人のための養護老人ホームの建設はいつになるのかについて聞きたい。

答 現時点の老人問題は、実践すべき時代になっていいると考える。高齢年金は国の制度であるので機会ある毎に、地方自治体の長として年金の増額、年齢引下げに努力していきたい。

老人をはじめ身障者、母子家庭なども対象にした相談所を、四十八年度から開設し親身になつて相談にあたり、実効のある施策を進める。独居老人や寝たきり老人のために家庭奉仕員は順次増員したい。さらに、養護老人ホームはぜひ実現したい。このための国庫補助、起債は四十九年度獲得をメドに運動している。

市内バス乗り入れ促進を

問 国道三十六号線を基本路線として運行している市内バスの乗り入れを、国鉄より山側への運行もすすめてほしい。当面、上

答 国鉄より山側が進展しているので、強くバス乗り入れを道南バスに要請している。もつとも緊急としているのは、全体

乳幼児の医療無料化は…… 高潮対策はどうなるか

一般質問

高潮災害の対策を

計画のうち上登別一千代の台団地までを、道南バスに調査してもらい、具体化するという結論は得ていないが、極力実現方努力していきたい。

問 登別市の海岸線における、高波、高潮による災害は、近年に

ないものがあります。防潮堤のかさ上げ、河口へいそくに對する対策などを強力に実施してはどうか。

答 登別市の海岸線には、四・九

計の高さの防潮堤が約十七基にわたって、国の工事によって設けられたが、これが十分な役目を果たしていない。建設者、道に對し強く申し入れを行なっている。砂が防潮堤まで押寄せられてスロープ状態の所もあるし、反対に砂が持つていかれ、防潮堤がくずれ心配もあるので、離岸堤（テトラポット）を第一段階として、波打ちざわに投入するため、国の予算の子備費をあてて、本年度から実施をしていく。

河口へいそくに對しては、海水が逆流しない装置を設け、さらに、排水の逆流を防ぐための装置をする。



一般質問で答弁する高田市長

みんなであおう

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金運動は、十月一日から全国一斉に始められました。登別市でも、市内の各婦人会・婦人ボランティア・青年ボランティア・ボーイスカウト等の方々によって、街頭募金運動がくりひろげられました。初日は、市長、助役を初めとして、民生部長、社会福祉事務所長、共同募金会登別支会長も街頭へ出て募金運動に、協力しました。

わりには、身よりのない子どもや、お年より、病氣や体が不自由で働けない人など、不幸な人がたくさんいます。これらの人たちも、少しだけでも、しあわせになり、

赤い羽根の共同募金運動に参加した高田市長と田村助役



市内の各地で、たくさんの方々の協力を得て、赤い羽根の共同募金活動が展開されましたが、十月一日には六万四千三百二十七円の募金が集まりました。

私たちがま

明るい生活ができるよう、お互いに助けあっていきたいものです。共同募金運動によって、あつめられたお金は、市内の生活に困っている家庭、長期入院患者、福祉施設に入っている人たちが、少しでも明るいお正月をむかえられるようにと仕度金やお年玉に五二%、老人ホーム、児童養護施設、身体障害者施設など、いろいろな民間社会福祉施設の人たちのために処遇の改善、建物の新築や増改築設備の充実などに二八%、さらに地域の福祉をたかめるために、市社会福祉協議会の老人クラブ、母子会、子ども会、ボランティアの育成や援護事業などに二〇%の割合で使われます。

協力会は、みなさんの深いご理解とご協力により、目標達成のため三万人署名募金運動を進め、以

来着実に成果をおさめています。

現在、本会の運動を関係機関へ反映させるため、宣伝タバコを配布し幅広く運動を進め、八月二日、九月八日と理事会を開催して、道内の陳情先、陳情団の編成について討議しました。

その後、陳情書の作成等の準備をおこない、去る九月十九日には市調から市長、企画課長、議会からは室議長、副議長をむかえ

陳情団を編成し、雨の中札幌へ出陣しました。胸にシンボルマークのワッペンをつけた陳情団一行はノボリを先頭に、道、樺原副知事開発局、鉄道公団札幌支社、国鉄道総局、STV、HBC、北海タイムス、道新へと札幌市内を部厚い陳情書と宣伝タバコを持ち歩き、精力的に陳情してきました。

各関係機関とも、市民の熱意を結果した陳情書には、特に深い関心を寄せていました。また、陳情運動は、テレビ、新聞紙上でも大きく取り上げられ、この運動は意義深いものがあつたと思います。

札幌へ陳情団を派遣

登別回り新幹線建設協力会が
二回目の報告



陳情に使われた宣伝タバコ、のぼり、陳情書

犬は正しく飼いましょう

犬を飼うには、狂犬病予防法や登別市畜犬取締及び野犬掃とう条例で定められたつぎのことを、守らなければなりません。

◆ 登録と予防注射

生後3ヶ月以上の犬を飼っている人は、年1回の登録を受け、犬の首輪に鑑札、注射済票をつけておかなければなりません。また、住所変更したとき、飼い主が変わったとき、および犬が死亡したときは、市役所衛生課、または保健所へ届け出なければなりません。

◆ 犬はつないで飼いましょう。

放し飼いにすると、人をかんだり、家畜や田畑等をあらしたり、また、ところかまわず脱糞して人びとに不快感をあたえ、迷惑をかけますから、必ずつないで飼ってください。

◆ 飼い犬が人をかんだとき

飼っている犬が人をかんだときは、必ず市役所衛生課か保健所に届出をして指示を受けるとともに、獣医師にその犬を検診してもらわねばなりません。

おそろしい狂犬病もわが国においては、さいわい昭和32年以降発生していませんが、世界の各国においては近年狂犬病の発生をみめていますので、油断は禁物です。

◆ 犬は捨てないで

転居やその他の理由で飼えなくなったり、不用になったときは捨てないで、市役所衛生課に連絡して引き取ってもらいましょう。不用になった犬を捨てると、これらの犬が野犬化し、人をかんだりして非常に迷惑をかけます。

以上のことを守らないと「狂犬病予防法」「登別市畜犬取締及び野犬掃とう条例」によって罰せられることがあります。

(衛生課衛生係)

これからも、さらに強力に進めるため、道内及び中央の各関係機関に対する陳情運動を、基本的な活動として展開していくつもりです。

ここに、みなさんのご指導とご協力に感謝し、目標達成のため、なお一層の市民の結束と、ご協力をお願いいたします。

署名募金の内訳
目標三万人、三百万円。
商工会議所外経済団体
一、五四七人 四四〇、六〇〇円
登別地区労働組合協議会外各組合
四七人 三二、六〇〇円
保健衛生等各種団体

青年婦人等社会団体外
七一三人 六八、八〇二円
登別連合町内会
三、四一〇人 一一一、〇二〇円
幌別鉄北連合町内会
五、四四五人 二二五、九五一円
幌別鉄南連合町内会
七四七人 六三、〇八〇円
札内連合町内会
三六〇人 三〇、一一〇円
登別連合町内会
二、三九五入 一三四、七九〇円
上登別連合町内会外
三、〇五六人 六四、七〇〇円
合計 一、二〇〇、〇五三円

梅雨前線が北上するときに、前線上に低気圧が発生したり、また熱帯性低気圧や台風が接近すると局地的な集中豪雨に見舞われることが多くなります。このため、毎年全国の各地で災害が発生し、多くの人命や財産が失われています。

ことしの八月にも、胆振地方を中心に降り続いた集中豪雨により家屋の床上浸水や道路決壊などの大きな被害を生じました。

とくに地理的に、風水害などの自然災害を受けやすい地区では、市民ひとりひとりが災害に対し十分な注意をはらい、災害に備えることはなりません。各家庭では、ふだんの心がけや

準備が大切です。次にその注意すべき事項をあげてみましょう。

■ 心がけと準備

①ラジオ、テレビ、新聞などで

気象情報や防災上の注意事項をよく知る。

②住居付近の地形からみて、どのような災害がおこるかをよく知る。

り、安全な避難場所や道順を確かめておく。

③停電に備えて懐中電灯、ローク、トランジスタラジオ(子の電池も)などを用意する。

④家族のいめいの氏名票を作つておく。

集中豪雨にご用心

避難場所や道順を確かめておく

ておく(住所、本籍、氏名、生年月日、年齢、血液型を記入したもので、水にぬれてもかまわないもの)。

①河川の近くに住んでいる人は川の、水かさ、に注意する。

■ 災害を予想のとき

②長雨や大雨が続くと地盤がゆるみ、がけくずれの危険があるの、とくにがけ下、がけ上に住んでいる人は注意する。

③避難するときの携行品を非常袋などに入れて準備しておく(着換えの下着、医薬品、貴重品)。

④二食程度の食糧、飲料水を準備する。

⑤ロープや帯を用意する(子どもを背負ったり、浸水地帯を避難するときの連絡用)。

⑥浸水のおそれのある地域は、

家財道具を二階などに移す。

■ 避難するときの注意

①電気、ガスなどの火の始末と戸締りを確かめる。

②老人や子ども、病人、身体障害者、妊産婦などのいる家庭では早めに避難する。

③家族そろって消防、警察その他防災関係者の指示に従って避難する。

④指示のないときは、まわり道でも、もとも安全な道順をえらび避難する。

⑤服装は軽快な行動しやすいものとし、持ち物は最少限にとどめ、非常袋などで背負う。

職場で健康体操をしよう

近年、国民の体位はいちじるしい向上をみせていますが、欧米先進諸国に比べると、まだ満足すべき状態とはいえず、各方面で健康づくり、体力づくりの必要性が叫ばれています。

近頃の技術革新、資本の自由化など、はげしい競争下における企業の中で、あるいは交通の混雑、通勤ラッシュなどで、わたしたちの日常生活には絶えず緊張や不安がつきまわっています。このような生活環境の中で、種々様々のストレスを解消し、疲労を回復させ健康の増進、体力の増強をはかるには、体操が最も簡便で効果的な方法です。体操は道具がいらず、わずかな場所、短時間に、その人の身体の状態に応じて、だれでもできます。しかし、体操は毎日継続してやらなければ効果がありません。

社会保険庁では、健康保険の被保険者をはじめ、国民のだれもが健康で明るい生活を送れるよう昭和三十九年から「健康体操」の普及をはかっています。この健康体操は「だれでもできる体操」「つかれをなくす体操」からだをたんにする体操の三種類ですが昭和四十七年から新たに「フィットネス体操」「トリム体操」の二種類が加えられました。

この健康体操の特色は、形式にとらわれず、たのしく運動の喜びを与えてくれるものとして作られたもので、とくに「フィットネス体操」は職場向けに作られており前奏を聞きながら、好きなスポーツフォーム練習でからだをほぐしリズムカルに作られています。

スポーツに適した季節を迎え、各職場では運動会などの体育行事が多いと思いますが、これを機会にぜひ職場で、また家庭でも、一人でも多くの人が毎日体操をする習慣を身につけましょう。

職場で新たに「健康体操」を実施したいときは、道保険課または社会保険事務所へ申込み下さい。

国民健康保険事業の協力について

ことし四月から、市が実施した老人医療費の完全無料化と、あわせて、本年二月の医療費の値上り等によって、本年度の医療費支出は、七月分まで月平均一千六百八万円と前年の月平均一千七百六十三千円に比べ、実に月平均五百三十一万七千円と約五十％の支払増を見ております。

このまま、推移いたすと、年間二億円の医療費支出を余儀なくされますが、つまり医療費支出が増えますと、これは、保険税を値上げという形（地方税法七〇三条の四）でわたくしたち被保険者の肩に、かぶさってくるわけであり、国民健康保険会計の財政運営上の非常事態が予想されます。これに加えて保険税は、前年同様の税率によりご負担を願ひ、登別市は、全道都市の中で最下位の負担で運営してありますが、被保険者のみなさまの方の、ご協力を戴くために、保険税の納期内納入の完全履行とあわせて正しい受診を心がけるよう、特にご協力をおねがいいたします。

お医者さん、信用し、すべてをまかせ切つて、その上でどうしても納得できないというときは、転

くされますが、つまり医療費支出が増えますと、これは、保険税を値上げという形（地方税法七〇三条の四）でわたくしたち被保険者の肩に、かぶさってくるわけであり、国民健康保険会計の財政運営上の非常事態が予想されます。これに加えて保険税は、前年同様の税率によりご負担を願ひ、登別市は、全道都市の中で最下位の負担で運営してありますが、被保険者のみなさまの方の、ご協力を戴くために、保険税の納期内納入の完全履行とあわせて正しい受診を心がけるよう、特にご協力をおねがいいたします。

お医者さんの上手なかかりかた

さきに、国民健康保険事業の、医療費の増加に対処し、被保険者のみなさまの方のご協力をおねがいしましたが、今ここで、上手な医療の受けかたを、述べてみましょう。

◎ 浮気は禁物

いちどお医者さんをきめたからには、そのお医者さんを信用し、その人にすべてを、まかせ切る心構えをもたなくてはなりません。『どうもあの先生のやることは……』などと、あつちこつちのお医者さんを渡り歩く人がいますが、こういうことはやめたいものです。お医者さんと患者の、良好な人間関係は治療の効果をあげます。疑つてばかりいたら、治る病氣も治らなくなってしまうのです。

◎ 転医するとき

お医者さんを信用し、すべてをまかせ切つて、その上でどうしても納得できないというときは、転

医もやむを得ないでしょう。ただ、病状のちよつとの変化に一喜一憂し、思いつきで次から次へと、お医者さんをあさつて歩くなどということは、絶対やめるべきです。

◎ 家庭医をもちましよう

お医者さんは、病状の経過を見守りながら、検査を進め、その上で綿密な治療計画を立てているわけ、そのようなとき、転医したのでは、検査や治療計画がまた振り出しにもどってしまうことになります。浮気は禁物です。

家庭医とは、身近にいて、一家の健康のことは、何でもうちとけて相談できるお医者さんのことなのです。

からだの具合の悪いときは、まず家庭医に見てもらおう。そしてむずかしい病氣だったら、家庭医を通して、専門医を紹介してもらおう。それが望ましい。診療の受け方で（市民課保険係）

広報のしおり



いよいよ秋から冬への衣替えの季節です。まだあたりの様子は秋の気配がいっぱいなのに、日ざしの弱さ、日の暮れの早さ朝夕の手足の冷たさ……など、そろそろ近づいた冬を思わせませす。冬というのは立冬（七日）から来年の立春（二月四日）の前日までのことですが、上旬はまだそう寒くなく、日中は天気も定まって静かな日和が続きます。お休みの日にはどこかへ出かけるのにもよい季節です。

しかし、日あしが短くなり、日が落ちてからの寒さが気になるこのごろです。秋から冬への季節の変わり目は、からだがまだ寒さになれきれないので、日中の暖かさに頼つて、まだ大丈夫だろうなどと薄手の服装で出かけ、夕方急な冷えこみに会ってカゼを引かないように気をつけましょう。

日中は空気が乾燥していて、相当はげしい活動をしてもらして汗もかかずにいられる気持ちのよい季節ですが、お出かけの際、夜遅くなるようでしたら、カーディガンやセーターでもちよつと持つて出るように心がけましょう。

市政見てあるき

10月6日、市内の各婦人会から参加したお母さんたち41名に、市政の現状を見聞し、理解を深めていただくとう市バスを利用しての第4回市政移動教室がひらかれました。鷺別小学校の屋内運動場を皮切りに、市立図書館、幌別東団地の4階建市営住宅、紅葉大橋など19ヵ所の施設を見てあるきました。市長のガイド、コースのとりかたなどが好評で、お母さんたちに喜んでいただくことが出来ました。

第4回市政移動教室



出漁の根拠地として重要な役割をもつ登別漁港の説明をうける



お昼には栄養たっぷりの学校給食を試食

市政移動教室に参加して

十月六日、絶好のお天気にも恵まれて、初めて市政移動教室に参加しましたが、私なりに考えさせられる一日でした。登別に住んでいながら知らない道路や施設がたくさんあり、市政に対する関心のうすさに驚きました。

過疎という言葉は、どこ吹く風かのように増え続ける人口に、市長はじめ関係者の方々の嬉しい、苦しい悲鳴が聞こえるような気がしました。参加した人はそれぞれ自分の生活と比較して、新しく造られたものへの満足感と、足りないものへの不満とを感じたと思います。恵まれた図書館で静かに勉強する人、楽しく読書する人、老人憩いの家集い若き日の思い出話に花咲かすお年寄りの方々、モデル校舎で勉強にいそむ児童たち、心温まる思いでした。反面、要求や希望もたくさん出ました。道路、緑、施設の整った学校、排水溝、道外への研修、ゴミ処理など当り前の事ながら、どれひとつにしても地元市民の理解と協力がなくてはならないものかもしれません。そのためにこそこうした行事はたびたびあって、数多くの人が市政に関心をもち、関係者の方々と共に話し合えるようになれば、素晴らしいし、完成した施設は大いに活用したいと思っています。

紅葉大橋を渡り、新登別から見た広大な札幌の牧野、目を見張るばかりに美しいカールスの山々、クツタラ湖の自然、こんなに素晴らしい郷土を、若い人達と力を合せて大切にしないでと改めて考えました。

これを機会に、自分の身のまわりだけでなく、もっと視野を広げたいと思います。そして、住民の意見を十分に取入れた市政を望みます。

今田ヒデ子

訂正
前月号四ページ下段で、二箇所数え年とあるのは満歳の誤りです。訂正してお詫びいたします。

市の人口

(8月末現在)

総人口	48,198 (264増)
男	24,062 (125増)
女	24,136 (139増)
世帯数	13,797 (72増)





図書館の利用は無料です。
全館暖房で冬も快適です。

これからの図書館

図書館は自由に気軽に本を借りられるところです。もしも「と入口で呼びとめられたりせずに、読みたい本を、自分で本棚から選

ガンの考え方

(年に一度の健康診断を)

私達は健康について常に気を配っていますが、原因がわからない病気のため多くの人が苦しんでいます。そこで今日は、ガンについてよく耳にする迷信のいくつかをここで打破しておきましょう。

手術はむだか

「ガンなら手術してもむだだ」とよく聞く言葉ですが、そんなことは決してありません。早く見つければ、胃ガンでも五〇%以上治療することができ、乳ガンや子宮ガンなら八〇%以上全治させ

び家に借りて帰れるのです。

また、本棚にある本を借りるだけでなく、読みたい本をリクエストして取寄せてもらえます。

さらに、図書館は、利用者のどんな求めにも答えられるればなりません。ない本を購入したり、ほかの図書館から借りて、貸出することが出来るのです。

これは、図書館白書の一節ですが、登別市立図書館では、白書でいっている通り実行し、市民のための図書館をめざしております。

図書館の本は、あなたの本ですから、しまりを守って、自由に、気軽にご利用していただきたいと思

ることが出来ます。

ガンの原因

どうしてガンになるのか、その原因は今のところはつきりしたものは全然ありません。新聞などに出版しているのも世測の域を出ないのです。

ひとくち

健康メモ

ガンは遺伝するか

だれでも親族を上になどれば、必ずガンで死んだ人がいるものです。だからと言って、ガンが遺伝するなどという事はあせん。ウイルス説(病原菌により発病す

開館時間

火曜日・土曜日(十時~十八時)

日曜日 (十時~十五時)

休館日

月曜日、国民の祝日、月末、

図書貸出券は三枚(一人)

貸出し期間は十日間

本を返すときは、必ずカウンターへ

返本のお願

本の貸出し期間は、十日間です。から期限内に返本するように、お願いします。また、本を返すとき直接書架へ返す児童がいますので必ずカウンターで貸出券と交換してください。

ご寄贈ありがとうございます

室蘭信用金庫 七十万円

(創立五十周年を記念して寄贈いただきました)

氏家一郎 木影の蛙
村上薬性 サトちゃん(置物)

図書館利用状況

九月末現在

登録者数 二千六五五人

貸出冊数 一万五千四百冊

入館者数 二万一千九三八人

て外科医を敬遠するというのも、同様に全く無意味なことです。

ガンの薬

ガンの薬は、今世界で三〇種ほどありますが、すべて手術の補助か、万一のための予防的な手段と考えてよいでしょう。

これらについて、ガンに対する認識を新たにしたいと思いが、ガンを治すには、外科的治療が唯一で最良の方法とされています。ただ、ガンであるか否かは、経験ある医師でなければわかりませんので、自分の身体をほうりっぱなしにしないで、年に一度は信頼できる医師に見せ、様子を話すとよいでしょう。

市民の声



ことしから、わが家の暖房器を石油ストーブにきりかえたいのですが、危険物取り扱いの基準、その他、防火上注意しなければならぬ点を教えてください。

(来馬町67 畑山実)

灯油の貯蔵は、ドラム缶、ホームタンク或いは一斗缶(一八リットル小缶)などいろいろな方法がありますが、ホームタンクによる方法が最も安全で便利です。

灯油は一〇〇リットル(ドラム缶半分)以上貯蔵するときは、消防に届け出が必要です。また貯蔵する場所には標識を設け、周囲には幅二メートル(タンクにあつては一メートル)の空地を保有しなければなりません。

ポット式ストーブや石油風呂がまなどの火災を防止するため、これらの器具の整備や分解掃除は専門業者や熟練者に行なってもらい、万一に備え消火器を準備しておくなどの心掛けが必要です。

なお、詳しくは最寄りの消防へお問合せ下さい。

(消防本部予防係)

広報のほりべつ おしらせ

発行 47. 10. 15 No.14

交通安全標語

※ことも向けのもの

母さんを

道路で見ても

走らない



十一月から冬期の

執務時間になります

市役所（支所、水道部、消防署を含む）の執務時間が、十一月一日から昭和四十八年三月三十一日まで冬期の時間となります。

・平日は午前九時から

午後五時まで

・土曜は午前九時から

午後零時四十五分まで

潜在看護婦

講習会の開催

現在、家事などの都合によって職場を離れている看護婦（准看護婦を含む）を対象に、道では、最近の医学看護に関する再教育を実施し、有資格者の再稼働を図ることを目的として、潜在看護婦講習

会を開催いたしますので、希望者は、申込み願います。

▼受講科目

看護の基本及び看護技術

薬の知識

検査の知識

病院実習および見学

▼経費

受講料は無料

交通費、宿泊費は受講者負担

▼提出書類

履歴書（一部）

▼申込み先

市役所衛生課

▼申込みメット

十月二十五日

詳細は、市役所衛生課へお問い合わせください。

正しい「はかり」の

使い方

講習会の開催

市では、北海道計量検定所、登別商工会議所のご協力により、次の日程で「はかり」の正しい使い方についての講習会を開催いたしますので、計量器使用事業所におかれましては、ぜひ、受講されますようご案内いたします。

▽日時 十月二十六日

午後一時

▽場所 登別商工会館

技能検定を受けよう

後期の受検申請受付中

技能水準の向上と技能者の社会的地位の向上を目的に、昭和四十七年度後期の技能検定試験が、次のとおり実施されます。

◎受検期間 十月二十五日まで

◎実施職種 建築大工、建築板金、鉄筋組立てなど二十九職種

◎実技試験 昭和四十七年十一月

◎学科試験 昭和四十八年二月十八日

その他、詳しく知りたい方は、市観光商工課へお問い合わせください。

10月下旬の予防接種

10月下旬の予防接種を日程表によりおこないますが、つぎのことに注意して受けるようにしてください。

- ▲ インフルエンザの予防接種は二才以上の幼児です。
- ▲ 料金（インフルエンザのみ）二才以上六才未満 100円（2回）

場 所	時 間	インフルエンザ		三種混合 3 回	種 痘 6ヶ月以上 2才未満
		2才以上 小学校入学前			
ひまわり園	1:00-1:30	10月20日	10月25日		
鶯別公民館	2:00-2:30	10月20日	10月25日		
①中央公民館	0:30-1:00		10月26日		
②中央公民館	0:30-1:00	10月19日	10月24日		
登民会館	1:00-1:30	10月20日	10月25日		
温泉支所	2:00-2:30	10月19日	10月26日		
商工会館	0:30-1:00				10月31日
富浜児童館	1:00-1:30	10月19日	10月23日		10月30日

あなたも 体力テストを受けませんか

人間にとって一番大切なものは健康です。

最近では体を動かさずに生活できるような時代になってきており、使わなくなった体力、筋肉はますます退化してしまいます。

- ▽実施時間 午後一時三十分から
- ▽実施場所 登別市青少年会館
- ▽テスト料 無料
- ▽対象 満二十五才〜六十才までの健康な男女
- ▽テスト種目
 - 反復横とび、垂直とび、彈力、ジグザグトリプル、急歩
- ▽その他 雨天決行、うわぐつを準備してください
- ▽申し込み先
 - ・登別市教育委員会
 - ・青少年会館 (五三、一〇七番)

あなたの体力に自信がありますか。自分の健康度を試みるため、ぜひ一度この体力テストを受けて、体力年令を調べてください。

今回は、次のとおり行いますので希望の方は、申し込みたい。

▽実施日 十月二十九、三十日

第三回胆振芸術祭

(郷土芸能)

発表会

私たちの住んでいる胆振地方には、古くから伝わっている音頭、大鼓、獅子舞等の郷土芸能が、無形文化財として保存され、特に、伊達市の仙台神楽は、三十一年ぶりに、完璧な姿で復活し、関係者より、大きな感心を強くひいております。

このたび、こうした各市町村の郷土芸能の発表会を、つぎのとおり

市では北海道計量検定所のご協力により、一般消費者を対象とした、計量教室を開催いたします。

計量教室で正しい計量を勉強しよう

- ▽場所 観別中学校体育館
- ▽入場料 無料

▽日時 昭和四十七年十月二十三日(日)

十二時三十分から十五時三十分まで

ゴミは

計画収集日に

(日曜、祭日は出さないように)

市では、ゴミの収集について収集日をきめて計画的におこなっております。

最近収集日でない日にゴミを出している方が多く見受けられ、風雨及び野犬等によりゴミが散乱して付近の方々をはじめ通行人が大変迷惑しております。お互に自分の家の付近に出されることをお考えになって他人に迷惑をかけないようにお願いいたします。

ゴミの証紙は 忘れずに!!

現在、一般家庭のゴミの収集については無料ですが、店舗および事業所等より出されるゴミについては、四〇ℓ(リングゴブ一ケ)までは無料、四〇ℓを超えるものについては、四〇ℓにつき二〇円の証紙をもって収集することになっておりますので、証紙を購入のうえゴミを排出するようにしてください。

なお、証紙は、市衛生課、各支所、ひまわり園および商工会議所で取扱っております。

ご寄付ありがとうございました

(い)ごい、ます

- 《愛情銀行へ》
 - はまわし町内会 共〇〇〇〇円
 - 匿名 米馬町 一〇〇〇〇円
 - 観別婦人会 共〇〇〇〇円
 - 佐藤仕出しセンター 三〇〇〇〇円
 - 《老人クラブ南山会へ》
 - 新町々内会 三〇〇〇〇円
 - 《物品寄贈》
 - 土生正勝 衣類他六〇〇点
 - ホテル万世閣 丹前下他三〇〇〇点
 - 佐々木雄治 衣類他四〇〇点
 - 《古切手寄贈》
 - 持丸虎太郎 観別町 三八八枚
 - 東条佐市 米馬町 五二〇枚
 - 草野艶子 米馬町 二〇〇枚

昭和47年度第2期自動車税の納期限は、10月31日です
忘れずに納期限内に納税しましょう



それ、地震
まず第一に火を消そう

